

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジエ吉祥院三ノ宮町 新築工事	階数	地上7F、地下0F
建設地	京都府京都市南区吉祥院三ノ宮町6番3、9番1、9番2、14番1、14番2、15番、19番1、19番2	構造	RC造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	260 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年4月12日
敷地面積	3,562.30 m ²	作成者	小川 香織
建築面積	1,644.15 m ²	確認日	2019年5月17日
延床面積	8,393.57 m ²	確認者	平野 哲也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 76%

③上記+②以外の 75%

④上記+ 75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.0**

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
開口部は遮音性の高い建具を使用している。また給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	特になし。
Q1 室内環境 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル LGSを使用し、躯体と仕上げ材が容易に分別できるようにしている。
Q2 サービス性能 給排水配管は耐用年数高い材料を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率78%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される